

あつという間に1学期も最終日を迎えました。保護者の皆様には、いつもあたたかいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。また、先日行われた保護者会では、短い時間ではありましたが、ご家庭での様子を伺ったり、学校での様子を伝えたりすることができ、大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。

1学期も今日で終わりです。明日から始まる夏休みは、部活動や学習など1年生のときとは違う過ごし方を意識し、よりよい時間を過ごしてほしいなと思います。そのためにも、体調に気を付けつつ、心身ともに健全な生活を送ることができるよう学校と家庭で協力して生徒たちを支えていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

学年主任 杉浦 龍太

## 1学期を終えて…

僕が1学期に頑張ったことは、二つあります。一つ目は、学級書記に立候補したことです。少しでもみんなの役に立ちたいと思い、初めて挑戦してみました。学級会では、クラスメイトの意見をまとめたり、毎日の予定黒板を書いたりしました。実際にやってみて、クラスメイトの意見をまとめることは大変でしたが、頭の中が整理されたり、クラブチームの活動で生かすことができたりするなどいい経験になりました。9月からもクラスのために頑張りたいと思いました。

二つ目は、学級アピール大合戦です。僕は、前に出て声を出す役に立候補し、その部分の練習も中心になってまとめました。練習中は声の大きさや動きのタイミングなどをまとめるなどの難しさを感じました。しかし、回数を重ねるうちに、みんなが指示を聞いてくれて、2年1組の団結力と協力が向上したと感じました。自分の成長はもちろん、クラスとしても成長が感じられたことがうれしかったです。

この二つの経験を生かし、僕は全校合唱のパーティーリーダーも頑張っていきたいと思っています。現在も、リーダーで話したり、練習計画を立てたり、仲間と協力して取り組んでいます。2学期の幸中祭に向けて、「ふるさと」で全校が一つになれるよう、僕もその一員としてできることを率先してやっていきたいです。

また、クラスでは、切りかえや時間の意識が課題にあがります。普段の生活から自分たちで声をかけ合えるような雰囲気を目指していきたいです。1学期で成長できた心を2学期になっても継続し、レベルアップできるよう、頑張りたいです。

私は、学年目標の【真】に近づくために、一学期に挑戦したことが二つあります。

一つ目は、学級アピールのダンスリーダーです。はじめはうまくみんなをまとめることができず、不安を感じていました。しかし、練習の中で一人一人が意見を出し合い、よりよいものにしようとする姿を見て、自身の不安もなくなり、クラスの発表に楽しんで臨もうという気持ちに変わりました。本番では、練習や団の見せ合いのときよりも緊張てしまい、とまどってしまうこともありますが、それ以上に気持ちを込めた発表を全力で披露することができてよかったです。優勝することはできませんでしたが、2年2組として一つになることができ、次の合唱コンクールでもクラスの団結を高めていきたいと思いました。

二つ目は、視野を広げることです。真ん中の学年として、3年生を支えたり、1年生を引っ張っていったりする立場になり、視野を広げて積極的に行動することの大切さが分かったとともに、その難しさに気付きました。また、相手や周りのことを考えて行動したり、あいさつや細かいところに気付いたりすることを意識していく中で、部活や日常生活を通して、できるようになったことも増えていきました。これからは部活でも2年生が主体となって動くことになります。分からないことや不安に感じることも増えていくと思いますが、真の幸中生の姿に近づくことができるよう、2学期、3学期も意識をし続けて生活していきたいと思います。

初めて先輩という立場になった2年生。憧れの先輩についていくだけでなく、後輩ができ、引っ張っていく立場になりました。そんな1学期で私が頑張ったことは挑戦することです。

体育大会での『学級アピール大合戦』。今年初めて学級のダンスリーダーに挑戦をしました。はじめは、効率のよい練習の仕方や、『みんなに伝わりやすいようにする』ためにはどういう指示を出していけばいいかななど、悩んでいました。しかし、他のリーダーの子たちと相談したり、自分にできることを必死にやったりしていく中で、少しずつ指示を出すことに慣れていきました。そこには、学級の仲間の存在がすごく大きかったです。リーダーの子たちも協力的な人が多く、分からることや困ったことがあったときに、すぐに相談できました。クラスのみんなも、私たちリーダーの指示をちゃんと聞いて動いてくれたり、分からることがあると「ここってどうやるの？」と質問してくれたり、全員が練習しやすいような雰囲気づくりができました。その雰囲気が私はうれしかったのと同時に、みんなが頑張ろうと思ってくれていると感じ、リーダーであることへの責任感が強くなりました。

2学期には合唱コンクールがあります。学級アピールでの反省を生かしながら、よりクラス全体で団結していきたいです。そして、36人全員で、聴いてくれているすべての人が感動するような合唱を創り上げ、学級アピールではできなかつた優勝を目指していきます。

まだまだ、クラスとしても、私個人としても課題があります。級訓『蟻』に込められた、誰も見ていないくても、自分たちで考えて、行動するということを特に意識し、【本物】の強みにしていきたいです。

1学期に僕が頑張ったことは、体育大会です。僕は個人種目で1500m走に出場しました。自分がまだやったことのないことに挑戦してみたいと思い選びました。3位以内に入ることを目標にして練習を取り組みました。本番では落ち着いて走ることができ、2位でゴールすることができました。自分で立てた目標を達成することができ、とてもうれしかったです。

クラスとして取り組んだ学級アピール大合戦では、級訓『努楽笑門』にちなんだ劇やダンスを行いました。僕は劇でドラえもんの役をやることになりました。立候補して初めの時期は、「どうして選んでしまったのだろう」と、後悔や嫌な気持ちが心の中に少しありました。しかし、選んだのは自分だし、立候補したからにはクラスの代表者として責任感をもってやろうと取り組むうちに、後悔や後ろ向きな気持ちちは自然となっていました。声の大きさや、恥ずかしさを捨てて演技に向かうことをがけました。本番の日は、練習とは違い大勢の人に見られることにとても緊張しました。しかし、いつもの練習を思い出してやり抜くことができました。結果は優勝には届きませんでしたが、先生が言ってくれた「結果よりも今までの過程が大切」という言葉を聞いて、今までの練習の日々が頭に浮かんできました。最初は後ろ向きな気持ちがありましたが、やってみてよかったと思うことができました。2年5組のみんなで取り組んだあの時間は僕にとって大切なものになりました。

1学期はたくさんのこと挑戦しました。今までしたことないことに挑戦するには、不安や怖さがあると思います。しかし、挑戦したその先には新しい自分がいると気付くことができました。2学期はもっと新しいことに挑戦して、新たな自分になっていきます。



1学期は、自分としても成長できた期間だったと思います。

クラスとしては、指示がしっかりと通るようになりました。進級したばかりのころは人の話を聞いていない人が多く、「先生さきなんて言ってたっけ」など、人に聞いている場面が多く見られました。なので、学級委員長が「静かにするよ」など声かけをしていました。そのおかげで、今では話をしっかり聞く人が増えたり、委員長に続いて声かけする人が増えたりしました。

個人としては、当たり前のことが当たり前にできるようになったと思います。1年生のころや2年生になったばかりのときは、あゆみを書くことを忘れていたり、2分前着席ができるいなかったりしました。今年からは後輩がけて、来年はいよいよ受験生になります。なので、このままではいけないと思い、当たり前の質を上げようと決めました。当たり前のことをしっかりとできるようになるために、まずは声かけを始めました。理由は、声かけをすると、今できないことに気が付くことができるからです。例えば、「あゆみを書くよ」と声をかければ、みんながあゆみを書くようになると同時に、自分もあゆみを書き忘れることがなくなります。声かけを始めたことで、今ではあゆみを毎日書けているし、2分前着席もしっかりとできるようになりました。

2学期、3学期でも成長をし続けて、3年生になるころには人の話をしっかりと聞くことができ、当たり前のことを当たり前にできるクラスにしていきたいです。

### 今後の予定

#### ～8月～

- 11日（月）山の日
- 12日（火）学校閉校日（～8/15まで）
- 20日（水）全校出校日（11：15 最終下校）
- 23日（土）PTA資源回収
- 24日（日）PTA資源回収予備日

#### ～9月～

- 1日（月）始業式（13：45 最終下校）  
**※弁当持ち ※部活動あり**
- 2日（火）岡崎学力検査（15：55 最終下校）  
**※弁当持ち**
- 3日（水）給食スタート
- 6日（土）町防災訓練
- 14日（日）テスト週間  
部活動停止（9/18まで）
- 17日（水）中間テスト（数・社・理）  
(13：35 最終下校)
- 18日（木）中間テスト（英・国）  
(13：35 最終下校)